

環境コミュニケーション

塗料メーカーとして向き合うべきテーマを探るために、社内外でさまざまな取り組みを行っています。

「DNT環境セミナー」を開催

当社では2002年から毎年「DNT環境塾 環境と塗料についてのセミナー」(環境セミナー)を開催しています。2015年は「塗料で護ろう!美しい日本!」をテーマに、全国9か所で開催しました。人と環境に優しく、日本の未来を見据えた人々の暮らしに貢献する塗料技術について紹介しました。

開催地により若干内容が異なりますが、基調講演では、地球環境の保全と建築塗装における取り組みについて講演しました。またセミナーでは各分野に分かれて、建築塗料の「維持管理の時代～塗料で甦る建物の美観と耐久性」、構造物塗料の「未来へと繋ぐ防食技術・環境対策技術」、金属焼付塗料の「VOCゼロへの挑戦。究極のLCC塗料を目指して…(その2)」、環境品質保証の「特定化学物質障害予防規則(特化則)の対応について」などの情報を提供しました。いずれのセミナーも盛況のうちに終わりました。



「DNT環境セミナー」大阪会場風景

TOPICS

『危機管理産業展2015』に出展

2015年10月14～16日、東京ビッグサイトで「危機管理産業展2015」が開催され、当社のグループ会社であるシンロイヒ株式会社が出展しました。

シンロイヒの扱っている蛍光製品は、視認性に優れた危機管理や安全防災の分野において大きな効果が期待できます。本展示会でも、災害時にヘリコプターに現在地を知らせる対空表示用蛍光塗料「ルミノヘリサイン」を展示しました。また、暗闇で蓄えた光を放出する蓄光塗料のスプレータイプ「スーパー蓄光スプレー」や、高輝度再帰反射塗料「ビームライトエース」も展示し、蛍光・蓄光・反射の3本柱で強力な安全対策を訴え、来場者の注目を集めていました。



シンロイヒ(株)ブースの風景

TOPICS

『ハイウェイテクノフェア2015』に出展

2015年11月25日～26日の両日、東京ビッグサイトで開催された「ハイウェイテクノフェア2015」に出展しました。

当社は「インフラを環境と補修の観点で護る」をキーワードに、環境に配慮しつつインフラをさびや劣化因子から護る製品を中心にPRしました。中でもお客様からの注目を浴びたのが、2015年にNETISの推奨技術に選定された塗布形素地調整軽減剤「サビシャット」で、そのメカニズムについて多くの質問をいただきました。またそのほかにも塗料から排出されるVOCを大幅に削減した「DNT水性重防食システム」や、コンクリートに含浸させ、塩害など様々な劣化因子からコンクリートを護る「レジソークType1」などお客様の注目を浴びました。



大日本塗料(株)ブースの風景